

逸品会 染繡 白百合

とき 平成28年6月10日(金)・11日(土)・12日(日)
AM10:00～PM6:00(最終日はPM5:00まで)

ところ 浅草「茶寮 一松」

平成28年度 白百合染繡逸品会

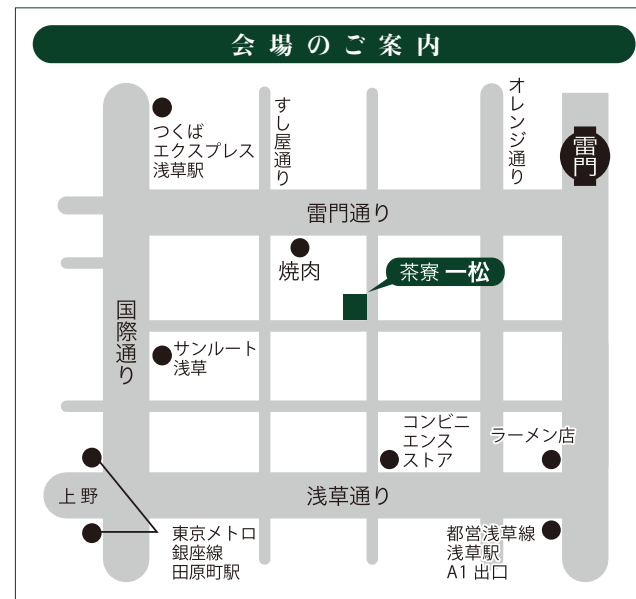
ごあいさつ

陽春の候、ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別なるご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、平成28年度の白百合染繡逸品会を江戸情緒あふれる浅草にあります老舗料亭「一松」にて開催いたします。「一松」は雷門から徒歩3分のところにあり、仲見世や老舗の名店が並ぶ一角にあります。この機会に着物をお召しになり江戸下町の情緒を味わいながら、作家たちが染め上げ、織り上げた新作の着物をお楽しみいただければ幸いです。

平成28年4月

白百合染繡同人会一同



浅草「茶寮 一松」

東京都台東区雷門1-15-1

Tel. 03-3481-0333

■ 地下鉄銀座線田原町駅 徒歩3分

■ 都営浅草線浅草駅 徒歩5分

■ つくばエクスプレス浅草駅 徒歩5分

《出品品目》

- ◎ 能州紬「絲芸苑」 ◎ 京友禪「清染居」上野街子
- ◎ 倭乃蔵屋 西陣「宮田織物」
- ◎ 「シルクギャラリー」高岡絢子 ◎ 東京友禪「大松」他
- ◎ 「染織楽房」小紋と染帯のコーディネート提案
- ◎ 京鹿の子絞り「藤井絞」 ◎ 結城紬「小倉商店」
- ◎ 中国刺繡 訪問着・袋帯等 ◎ 西陣「織匠万勝」
- ◎ 手織すくい帯「杉村」 ◎ 江戸組紐「龍工房」
- ◎ 「岡重」バッグ
- ◎ その他 小千谷・塩沢・米沢の紬、夏物コーナー等

倭乃蔵屋 西陣「宮田織物」



日本美の系譜と様式を豊饒なる意匠と配色をもった思考の名品に対し、「わ」とも「やまと」とも読む事が出来る「倭」という言葉に託して、「倭乃蔵屋」と題し、独自の織技を駆使して数々の作品を創出しました。

「シルクギャラリー」高岡絢子



成瀬優氏の主宰するシルクギャラリーは、西新宿に工房があり、糸目友禅をメインにして絞りや、引き染のボカシなどの手法で染の制作をしています。高岡絢子氏は、シルクギャラリーの所属する女性作家で、東京を中心に活躍中です。

岡重



岡重(OKAJIMA)は伝統的な京友禅の中でも独特な世界観を追求し続ける老舗です。創業は安政2年に遡り、現在も小紋や染帯の制作を続けています。羽裏や長襦袢はよく知られていますが、バッグやスカーフなども洗練されたスタイルを吹き込んだ新しい価値のある物です。

能州紬「絲芸苑」



能州紬は能登半島の門前町に工房がある「絲芸苑」で織られています。能登の四季の美しさを織物として表したいという思いから、海藻を使った海藻染めが生まれました。また、繻い(すくい)の技術は細やかな表現を可能にしました。能登の美しさに魅せられた能州紬をご堪能下さい。

京友禅「清染居」上野街子



京都で上野家といえば染の名門として知られています。友禅染で初めて人間国宝になった上野為二は、街子氏の義父になります。作風は上野家に代々伝わるものですが、そこに女性らしい優しさが加わり東京好みの染め上がりとなっています。

東京染

大松五代目 野口佳嗣新作展



老舗の「大松」を中心に東京染の逸品を取り揃えました。染の技術の中で繊細な表現の出来る糸目友禅を代々継承し、古くは「小袖」を題材にした文様や、更紗などのモダンな文様まで、細かなボカシの技術を駆使した極上の逸品です。

染織楽房



「きもの」を楽しむ。モダンな空間でもすんなりと溶け込めるシンプルで控えめな「きもの」。素材感、色合わせなどコーディネートを楽しむ。帯は思い切りたのしく。日常の中で「和」をお楽しみ下さい。

龍工房 組紐



武具に使われた紐に由来し、帯締めや羽織紐として今に伝わる組紐。日本橋「龍工房」は、伝統と技術に新しい感覚を加えてもの作りに取り組んでいます。東京好みのしゃれ味のある帯締め、個性的な図案の帯揚げが特長です。